

東松山市民文化センター

クラシック音楽講座 2024

名曲に隠された魅力を発見し、あなたにロマンと心豊かなひとときを...

< 講座概要 >

小沢征爾特別企画

作曲家のエピソードと作品の時代背景

有名な演奏家や指揮者の紹介

音楽関連映画の紹介や見どころ



講師 八木原 宗夫

永年にわたり高校の音楽教育を担うとともに、合唱・吹奏楽の指導に携わる。その後、埼玉県立芸術総合高等学校長・武蔵野音楽大学附属高等学校副校長を歴任し、本県及び私学の芸術教育の振興・発展に寄与する。2022年より地域に根ざした文化教育活動の一環として、クラシック音楽講座を開催し好評を博す。音楽指導は声楽・合唱・吹奏楽・鑑賞研究と多岐にわたる。

元埼玉県及び全日本高等学校音楽教育研究会長。

元埼玉県吹奏楽連盟理事長。武蔵野音楽大学卒業。東松山市在住

講座詳細

開講期間：令和6年6月～令和6年11月まで月2回、火曜日に開催（全12回）

開講時間：毎回 9:30～11:50

会場：東松山市民文化センター 第1会議室

講座内容：裏面をご覧ください

受講料：各回 1,500円（税込）

募集定員：各回 45名（定員に達し次第募集は締め切らせていただきます）

受付日：令和6年5月2日～（各月単位でのお申込可）

申込方法：東松山市民文化センター 窓口・お電話にて

東松山市六軒町5番地2 TEL.0493-24-2011 FAX.0493-24-2012



公益財団法人
東松山文化まちづくり公社

開講日・講座内容

[小沢征爾・協奏曲 特集]

第1回 6/11(火) ・ 第2回 6/25(火)

<①小沢征爾特別企画、②素敵なコンチェルト（協奏曲）への誘い>

特集①:「小沢征爾の遺産」=全米でTV放映された「OZAWA」の評価、N響事件の真相、ボストン響からウィーン・フィルへ、マーラーの交響曲第2番「復活」他

特集②:「コンチェルトの魅力」=メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調（人気度NO.1のコンチェルト、ソリストは誰!）、ロドリゴ:アランフェス協奏曲（クラシックギター・コンチェルト哀愁度NO.1）

[珠玉の名曲 特集]

第3回 7/9(火) ・ 第4回 7/23(火)

<国民楽派の作曲家による珠玉の名曲>

①ムソルグスキー:ロシア5人組の異色作曲家、超人気の管弦楽曲「展覧会の絵」の原曲と多種・多様なアレンジによる比較。ディズニー映画「ファンタジア」にも登場する交響詩「はげ山の一夜」の劇的サウンド。

②ドボルザーク=交響曲第9番「新世界より」の誕生秘話。ロマン派から国民楽派へ、シンフォニー作曲家としてのドボルザーク。作曲家ブラームスとの親交。スラブ舞曲第2番（10番）にみる哀愁サウンド。

[名曲ジュピター・ジャズ特集]

第5回 8/20(火) ・ 第6回 8/27(火)

<名曲ジュピターの誕生、ジャズとクラシック音楽の融合>

①ホルスト:壮大かつ深淵な宇宙を描いた組曲「惑星」に見る一大パノラマ。ヴォーカル曲「ジュピター」の誕生、多彩なアレンジによる「惑星」の魅力。

②ガーシュイン:ジャズの手法を採り入れた名曲「ラブソディ・イン・ブルー」の誕生。歌劇「ボギーとベス」～サマータイム、「パリのアメリカ人」、映画「アメリカ交響楽」（ガーシュイン物語）紹介。

[オペラ特集]

第7回 9/10(火) ・ 第8回 9/24(火)

<オペラ・アリアの魅力>

①三大テノールの競演=驚異の高音ハイCのパパロッチェ、情熱のドミンゴ、哀愁ただよカレーラス。歌劇「トゥーランドット」～誰も寝てはならぬ、歌劇「トスカ」から星は光りぬ、帰れソレントへ、カタリ カタリ、他

②歌劇「椿姫」=ヴェルディのオペラセリア（悲劇）最高作品、主人公ヴィオレッタの清らかな愛、アリア「ああ、そは彼の人か～花から花へ」にみる驚異のコラトゥーラ唱法

[ベートーヴェン 特集]

第9回 10/15(火) ・ 第10回 10/22(火)

<ベートーヴェン奇跡の音楽・合唱入り第九の誕生>

すべてのピアノ協奏曲を代表する第5番「皇帝」、ヴァイオリン曲「ロマンス」へ長調、ベートーヴェンの生涯（1812年以降）、構想30年奇跡の「第九」誕生、シラーの頌詩「歓喜に寄せて」の世界観、交響曲第9番「合唱」初演の混乱、我が国の第九驚きの初演記録、映画「敬愛なるベートーヴェン」の見どころ

[映画音楽特集]

第11回 11/12(火) ・ 第12回 11/26(火)

<クラシック出身の作曲家による映画音楽の魅力II>

①イタリア出身でハリウッド映画音楽界の紳士『ヘンリー・マンシーニ』の魅力。

オードリー・ヘップバーンとの出会い、甘く切ないマンシーニ・サウンド、映画「ティファニーで朝食を」、「シャレード」、「いつも二人で」。イタリアの巨匠デ・シーカ監督の映画「ひまわり」に響く哀愁サウンド。

②イタリア出身の映画音楽界の巨匠『ニーノ・ロータ』の魅力。

オペラ演出家のフランコ・ゼフィレリ監督映画「ロミオとジュリエット」、巨匠フランシス・コッポラ監督の代表作「ゴッド・ファーザー」シリーズ、フランス映画「太陽がいっぱい」に薫るニーノ・ロータ・サウンド。